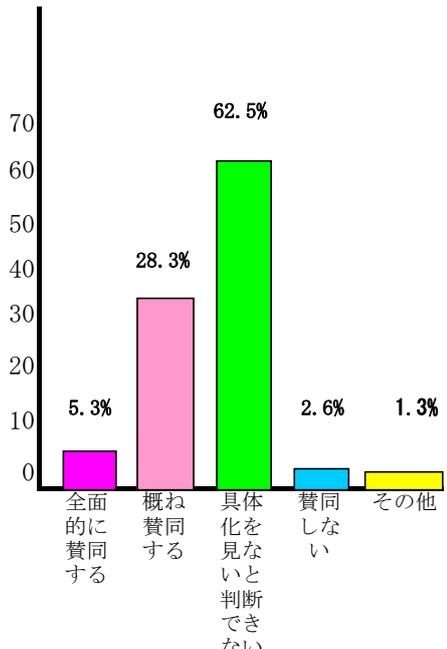


「知の探求・協同学習サイバー・コンソーシアム構想(案)」 に対する加盟校アンケートの集計結果

平成24年2月

第2回臨時総会において決議された「知の探求・協同学習サイバー・コンソーシアム構想(案)」について、加盟校の意見を確認するためのアンケート調査を実施した結果を報告します。

調査・回答内容	主な意見																					
1. 調査実施日	1. 全面的に賛同するについては特に意見なし																					
平成23年12月16日～平成24年1月26日迄	2. 概ね賛同するの主な意見																					
2. 調査結果	1. <u>現在の社会から求められる人材育成に貢献できる可能性があり、概ね賛同する。ネット上の議論やPBLを実践する事前教育についても検討頂きたい。</u>																					
① 回答率 調査対象293校 回答152校 回答率52%	2. <u>構想(案)に概ね賛同するが、費用は少額の負担に配慮した方がよい。また、受講証、認定証等を大学に申請すれば単位認定し、受講生の利益とモチベーション向上を図る等、大学の関わり方を検討して、今後さらに良いものへ改善してゆけばよいと思う。</u>																					
② 回答内容 以下の1.～5.の選択と意見を記入いただいた。	3. <u>着想は素晴らしく展開の可能性は多方面にあると思うが、具体的に適用例が示されないで利用イメージが湧きません。24年度はテーマを設定した検討を進められてはいかがでしょうか？</u>																					
③ 回答集計結果	4. <u>バーチャル空間での取り組みにはコミュニケーションの限界があり、何らかの直接関わりができることも考える必要がある。クラウドでの取り組みは十分な有意性を持っていると思う。費用徴収は成果が認められた上で検討すべき。</u>																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">調査項目</th> <th style="text-align: center;">回答数</th> <th style="text-align: center;">%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 全面的に賛同する</td> <td style="text-align: center;">8校</td> <td style="text-align: center;">5.3%</td> </tr> <tr> <td>2. 概ね賛同する</td> <td style="text-align: center;">44校</td> <td style="text-align: center;">28.3%</td> </tr> <tr> <td>3. 具体化を見ないと判断できない</td> <td style="text-align: center;">95校</td> <td style="text-align: center;">62.5%</td> </tr> <tr> <td>4. 賛同しない</td> <td style="text-align: center;">4校</td> <td style="text-align: center;">2.6%</td> </tr> <tr> <td>5. その他</td> <td style="text-align: center;">2校</td> <td style="text-align: center;">1.3%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">152校</td> <td style="text-align: center;">100%</td> </tr> </tbody> </table>	調査項目	回答数	%	1. 全面的に賛同する	8校	5.3%	2. 概ね賛同する	44校	28.3%	3. 具体化を見ないと判断できない	95校	62.5%	4. 賛同しない	4校	2.6%	5. その他	2校	1.3%	合計	152校	100%	3. 具体化を見ないと判断できないの主な意見
調査項目	回答数	%																				
1. 全面的に賛同する	8校	5.3%																				
2. 概ね賛同する	44校	28.3%																				
3. 具体化を見ないと判断できない	95校	62.5%																				
4. 賛同しない	4校	2.6%																				
5. その他	2校	1.3%																				
合計	152校	100%																				
	1. <u>趣旨としては賛同するが、会費での運用は本学に具体的なメリットが見えない現状では賛同できない。最初から構想を広げるのではなく、まずは少数のテーマに絞って試みてはどうか。</u>																					
	2. <u>着想および趣旨には賛同するが、参加者の費用負担を考えると参加者が集まるか、どのように集めるかの疑問が残る。まずはパイロット事業を始め、実績を積んでから本格的実施の形をとる方法が良いかと思う。</u>																					
	3. <u>実効性のある活動がなされるのかやや疑問が残る。私情協がトップダウン的に課題を設定して、開設しても参加者があるのか不安が残る。事業の意義は賛同するが実効性にはやや懐疑的ではある。</u>																					
	4. <u>興味深い構想ではあるが、学習者の具体的な活動内容がイメージしにくく、もう少し具体化しないと判断が難しい。</u>																					
	5. <u>広い視野からは必要な案件と考えられます。しかし、一部の大学では活用することができても多くの大学ではそうではない場合もあると考えられる。大学生には所属大学の指導教員が必要と考えらる。また、ロボットコンテスト等のようなゲーム性のあるものを取り入れれば、入りやすいのではないか。</u>																					
	6. <u>例として挙げられているものは、いずれも「安全・安心」に関するものである。現在はセキュリティに関する点に集中しているのはわかるが、今後のテーマの広がりや新規性が見えてこないように思われる。</u>																					

1. (回答1と2) 全面的に賛同、概ね賛同	33.5%
2. (回答3 具体化を見ないと判断できない)	62.6%
3. ③①+② 肯定的な意見	96.1%
4. (回答4) 賛同しない	2.6%

7. 公益法人として社会の教育リソースを活かし、既存の教育制度とは別の視点で教育制度を構築する新しい試みには賛同する。しかし、具体的な構想を見ないと判断できない。

会費を原資とするのに会員に対するメリットが明確に示されていない。

私情協の財政状況で継続性に問題はないか。実施する場合でも会費の追加は行わないことが好ましい。

8. 良い取組と思う、課題と成果の公表の詳細が知りたい。続報をお待ちしています。

9. 構想は、面白く意義があると思うが、テーマを限定し効果の上がる内容にしないと、実現は困難と思う。

10. 参加者および知識提供者が参加しやすい仕組み、事業が継続できる仕組みづくりが大事である。学習成果の公表については基本的に学習成果を社会に還元する意味で無料とした方が社会、企業の関心も集まり、事業として継続しやすくなるのではないか。

4. 賛同しないの主な意見

1. 構想の責任主体が不明確であり、事業の成功の見通しが低くなってしまふことを懸念している。